

# 健やかな「かほくっ子」を目指して

かほく市の全ての小中学校では、

- (1) さわやかなあいさつ
- (2) 正しい言葉づかい
- (3) 授業の姿勢

を大切にしています。



小中連携でのあいさつ運動

平成27年度

かほく市生徒指導部共通実践

人とのつながり  
を大切にする取組

## 【河北台中学校区】

### 河北台中学校

「めざせ！あいさつ日本一」

### 七塚小・外日角小学校

「めざせ！あいさつかほく市一」



(河北台中：あいさつ運動)



(外日角小：あいさつ運動)



(七塚小：あいさつ運動)

### 《あいさつはコミュニケーション力》

河北台中学校区では小学校との連携を大切にし、9年間を通して明るく、元気の良いあいさつができるさわやかな子どもたちを育てようと取り組んでいます。両小学校では「自分から」「元気よく」「明るく」を目標に、中学校では「気づきのあいさつ」「会釈」を目標に成長に合わせて、あいさつのレベルを向上させています。

右の写真は毎年行っている前期生徒会執行部とJRC委員会によるペットボトル・ブルタブ回収と共に実施したあいさつ運動の様子です。中学生のあいさつに大きな声であいさつを返してくれる小学生の姿がとても印象的で、小学生はもちろん中学生も笑顔があふれ、さわやかに一日をスタートさせることができました。

社会に出ると様々なことが求められますが、しっかりととしたあいさつができるという力は大変重要なことであると思います。それが人と人をつなぐコミュニケーションツールとして活用され、よりよい人生を歩んでいくことを強く望みます。

### 《前向きな考えは前向きな行動を生み出す》

あいさつと合わせて取り組んでいるのが、中学校では「さわやかカード」、七塚小は「キラキラさん」、外日角小は「いいね広場」です。これらは共通の目的があり、子どもたち同士や職員が子どもたちのいいところを見ようとしていることで、子どもたち一人一人の自己有用感を高め、学校全体をプラスの雰囲気で包み込み、よりよい成長を促すところにつなげています。掲示物を見る子どもたちの様子は穏やかで、笑顔が自然と生まれます。その笑顔が次の良い行動を生み出すという良い循環に役立っています。

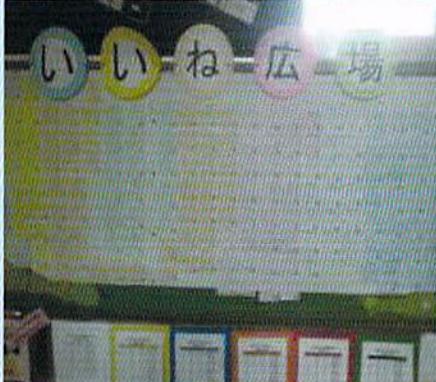
子どもたちを学校全体で見守り、認め、温かな環境の中で、個性を伸ばし、これからの時代をたくましく生き抜く力を育てていきたいと思います。それは家庭や地域の協力があって実現することだと考えます。今後も学校へのご協力とご理解をよろしくお願いします。



(河北台中：さわやかカード)



(七塚小：キラキラさん)



(外日角小：いいね広場)

## [宇ノ気中学校区]

宇ノ気中学校 「気づきの行動・先読みの行動」

宇ノ気小学校 「あげはのあいさつ」

金津小学校 「きらきら☆・進んであいさつ」



### ◇宇ノ気中学校

#### 《気づきの行動・先読みの行動の実践》

「遠くに先生を見つけた」「グランドを地域の方が通り過ぎた」「廊下でお客様とすれ違った」気がついたら、真っ先にあいさつをしよう。「地域を盛り上げるのは宇中の生徒諸君」を合い言葉に気づきのあいさつの励行を呼びかけています。そして、その成果が少しづつ現れてきました。

#### 〔地域の方からいただいた声〕

「久しぶりに実家に帰ったら、すれ違う中学生が元気よく『こんにちは』とあいさつをしてくれてびっくりしました。都会ではないことなので、とても良いことだと思い、感動しました。」「雨の日に、重い荷物を持っていた老人に『持ちますか』と言って声をかけて、助けてくれました。」「毎朝、中学生が元気よくあいさつをしてくれて、1日分の元気をもらっています。本当に嬉しくなります。」

気づきの行動はその他にも、かほく市共通実践である「かかと揃え」や「洗面台磨き」「ベル学」等にも活かされています。また、先読みの行動を奨励しています。「7：30を目標に登校する」では、余裕を持って1日の学校生活をスタートさせることで、活力を生み意欲ある学習態度につながることを期待するものです。



(宇ノ気中：かかと揃え&洗面台磨き)

### ◇宇ノ気小学校

#### 《あげはのあいさつ 優しい笑顔》

宇ノ気小学校の児童会目標は「あげはのあいさつ やさしい笑顔」です。あげはのあいさつとは、「明るく」「元気に」「はっきりと」あいさつをしようの頭文字を取った宇ノ気小学校のあいさつの合い言葉です。児童会のふれあい委員会のメンバーが毎朝「おはようございます。」のあいさつ運動をしています。ふれあい委員の声に、目と目を合わせてあいさつの声が宇ノ気小学校に広がっています。またPTAのみなさんも、あいさつ運動を続けてくださっています。毎週水曜日に通学路の6か所で、登校してくる児童に「おはようござい(宇ノ気小：あげはのあいさつ)ます。」の声かけをしています。たくさんの友だちと地域の人たちを笑顔で、心と心をつなぐ活動をこれからも進めていきます。



### ◇金津小学校

#### 《きらきら☆（ぼし）・進んであいさつ》

「きらきら☆」は児童がネーミングし、友達の頑張りやよいところ、感謝の気持ちを、学年を問わずカード（星形）に書いて全校に広めます。「進んであいさつ」する児童をめざし、毎朝自ら進んで元気なあいさつができたら、自分の葉にシールを貼っていく「進んであいさつの木」に取り組んでいます。また、6年生があいさつを盛り上げようと、あいさつ運動やあいさつ神様、ポスターでの呼びかけなど、自動的に目に見える形で呼びかけています。金津っ子の素敵な姿が、さらに増えることを期待します。

(金津小：きらきら☆)



## [高松中学校区]

高松中学校・高松小学校・大海小学校

人とのつながりを大切にする

「あいさついっぱいの学校」



### 《心をつなぐあいさつは自分から》

高松中学校区は、昨年度「正しい言葉や心を温かくする言葉をみんなで使おう」に取り組みました。さらに『人とのつながりの大切さ』を意識させるために、今年度は、「あいさつ」に焦点を絞って共通実践しています。特に、「自分から進んであいさつをしよう」という意識を高めようと、どの学校も積極的にあいさつ運動に取り組んでいます。

高松小学校では、あいさつ運動に参加する担当を、各月で、クラスや誕生日、血液型等のグループ別で取り組み、高松中学校でも、生徒会執行部を中心に部活動やクラスで取り組んでいます。



また、両小学校では、「あいさつ名人」を目指した取り組みも行っています。

大海小学校では、企画運営委員会の児童が、校内を回り、「あいさつ名人（大海小：あいさつ名人さんの木）さん」を見つけながらあいさつ運動を行っています。



### 《小中連携であいさつ運動もパワーアップ》

高松中学校区では、下記のように小中で協力し、工夫しながら連携したあいさつ運動に取り組んでいます。

高松小学校と高松中学校では、プログラム委員と生徒会が中心となって、お互いの学校に出かけて、一緒に朝のあいさつ運動を実施しています。

大海小学校は、高松中学校の朝のあいさつの様子をビデオ撮影し、自分から進んで、さわやかにあいさつする姿を昼の放送で流しました。ビデオを見ることで、児童の中に「自分からあいさつしよう」という意識が今まで以上に芽生えたようです。

あいさつ運動を行うことで、「元気な声で」、「相手の目を見て」、「笑顔で」あいさつできる児童が増え、自分も



（高松小・中で一緒にあいさつ運動）がんばろうという意識が高まってきた。学校だけでなく、家庭や地域でも、「自分から進んで、先にあいさつ」ができるように、「お互いが温かい気持ちになれるようなあいさつ」ができるように、これからも、三校での連携・協力を継続しながらあいさつ運動に取り組んでいきます。



### 【お願い】

「**基本的な生活習慣を身につけること**」「**人とのつながりを大切にすること**」を、ご家庭でもご指導下さいますようお願いします。